



みやぎ紫金草合唱団ニュース

通算 449号

2023年/第10号/10月14日(土)発行/担当:佐藤/事務局:022-372-8277 岡村 <http://sikinsojimdo.free.com>

2023年の暑い暑いほんとに暑い夏に、奥会津で開かれた温かい東北交流会

「ふる里からの手紙」の歌唱指導が、一番心に残っている。前に歌ったことがあるのかないのか思い出せないが。「あの朝駅の赤いポストに入れた手紙」は、まだポストに入っているのだろうか？(決してそこから出ることがないんだろうな)手紙を受け取るはずだった人は今どうしているのだろうか？

斎藤儀一郎さんの詩の解説を交えた指導は、あの日がまだ終わっていないんだ、決して終わることがないんだろうなと考えさせられるものだった。紫金草合唱団のみんなで歌いたいと思った。

9月16日(土) 晴れ

7:50発のバスで出発。会津若松・会津田島を經由して、只見町「季の郷 湯ら里」に到着。「郷土写真家 星 賢考」さん(只見線全線開通に尽力した方)の講演会半ばだった。

15:00 A「湯ら里」前歌う会、B「ブナ原生林歌う会」、C「奥会津自然探索ツアー」の3つに分かれての分科会。私は「B」ブナの中を15分ほど歩くとちょっとした広場があった。10曲ほど元気よく歌った。最後に私のリクエスト曲「青い空は」を、空を見上げながら歌った。この曲を歌うと必ず小林さんのことを思い出す。自然の中での歌う会は初めてだった。たくさん歌って楽しい会だった。

18:00 夕食。地元の食材をふんだんに使い、そこでしか食べられない料理はおいしかった。(朝食もそうで、体によさそうと思った。)

19:00から「演奏交流会」飲み物なしで。各県の紹介と演奏が10分ずつ。それはそれで楽しく進むものだった。宮城は、D51の「会津磐梯山」の後「へいわのうた」の合唱、迫力のある民謡と20人を超える合唱は聴衆に届いたと思った。福島の方々の、震災に題材をとった歌声は、人数も多く歌いこんであり、心にしみこんできた。

9月17日(日) 晴れ

9:00 合唱交流会。1曲目「風に願いを 水に願いを」を佐藤香さんの指導で50分。「表には出ていないが原発への怒りと悲しみを底に秘めて、100年後にこだまする言葉に未来の希望を見ている」と話していた。「たんたりんこたんこたんこ……」とずっと続く太鼓の音、歌うのが大変だった。2曲目が上記の曲。実り多い時間だった。

12:00 閉会后近くにあった源泉の温泉に入った。これぞまさしく温泉の王道、お肌つるつる、とても気持ちよかった。

14:35から3時間、楽しみにしていた只見線の旅。地元のボランティア解説員の説明に耳を傾け、右に左に体ごと向きを変え只見線沿線の景色を堪能した。只見川の清流、緑濃い山と木々、素晴らしい。

ふる里からの手紙 一檜葉より

作詞・作曲 梅原司平

編曲 小林康浩

1 あのと朝駅の赤いポストに入れた手紙はどこへ
人影もない浜通りにはゆずの実が熟れていた
ふつうに笑って ふつうに泣いた
いつものあの日を返して
ただいま おかえり さりげない言葉が
こんなに大事なものは 知らなかった

ああ ふる里 それは私の生命
ああ ふる里 それは私のすべて

2 春は桜の天神岬 夏は山百合の花
流れ豊かな秋の木戸川 今年もまた鮭が来る
遙かな空から 舞い戻る白鳥
私に力を与えて かすかな光を
ほのかな明かりを 私の心に 再び灯して

ああ ふる里 それは私の生命
ああ ふる里 それは私のすべて

3 帰れない町 戻れない家 語りつくせぬ想い
常磐線の錆びたレールに
つたがからまっていた
あまりに突然奪われた地上
いつものあの日を返して
何気ないほほえみさえあれば
何気ない暮らしにとけ込んだほほえみ
それさえあれば 人はみな生きてゆける

ああ ふる里 それは私の生命
ああ ふる里 それは私のすべて



Pinoの会 ファミリーコンサート 2023.11.19(日) 13:00~ 秋保藁の家

「Pino」って何？チラシを手渡されて思わず聞いてしまいました。「イタリア語で『松』という意味」との岡村さんの返事に納得。松本先生を講師として「歌うための声出し講座」を始めてから16年、念願のコンサートを開くことになりました。

第1、第3火曜日の午前10:00~11:00(そのあと30分ずつの個人レッスン)、地道に基本の声づくりを続けて成長してきた門下生が「満を持して？」の発表会です。お客様(聴衆)がいなければ盛り上がりません。皆様聴きに来てください。個人レッスンを受けている人のソロ、集団レッスンを受けている人の合唱を高橋侑子さんの伴奏で演奏します。乞うご期待!

《松本先生が「うた新10/2」に大きく載りました。岡村さんの文章もばっちりです。とても嬉しいです》

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ **着々と進んでいます 2024 教育の祭典宮城のプログラム** ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

9月30日(土) 第4回実行委員会が行われました。前回宮うたとの共催が決まったことで、今回の実行委員会には他の合唱団からも出席して下さる方があり、とてもうれしかったです。(岡村さん、村田さん、石垣さん、齊藤さん、阿部さん、寺野さん、葛西さん、川島さん、皆川さん=ひまわり、立山さん=D51、小山さん=サニー、加藤さん・熊谷さん=仙台合唱団、吉田さん・伊藤さん=どらごえ、佐藤。リモートで藤村さん=愛知、桐生さん=乙訓) 特に熊谷さんは毎回リモートの準備をしてくださり、臨場感たっぷりの姿と声に、どこでも会議ができるんだと実感している私がいいます。

《決まったこと》

- *日時 2024年8月23日(金) 24日(土) 25日(日)
- *会場 日立システムズホール(青年文化センター)
- *名称 2024 語り継ぐ平和と希望の音楽会 ~全国の教育のうたごえ祭典 in みやぎ
- *テーマ(全体を通して) ~ 生命 かがやく未来へ ~
- *8月23日(金) 被災地の現状を知る(見る)バスツアー。(石巻方面)
- *音楽会オープニングに歓迎演奏として、宮うた合同で「歌い続けよう ともに」(作詞・作曲 吉田和子)
- *音楽会は4部構成にして、第2部『「おばあちゃんから孫たちへ」語り伝えよう平和のこと』(仮題)として「宮うた合同」で演奏。
 - 1) 「鉄と油と」(男声合唱)
 - 2) 「世界で一番砂糖が好き」(混声四部合唱) • 他合唱団に広く呼びかけ、たくさんの人数で歌いたい。
 - 3) 「空襲で」(混声四部合唱) • 今年中に練習スケジュールを立て、練習を始める。
 - 4) 「あれから今も」(混声四部合唱)
- *第4部 子どもたちを含めうたごえ県内関係以外の人(合唱団)・教育のうたごえ合同にも呼び掛けて「ぞうれっしゃがやってきた」から4曲歌う。
 - (1) 「サーカスのうた」(4) 「動物園へようこそ」(10) 「ぞうれっしゃよはしれ」(11) 「平和とぞうと子どもたち」
- *「エンディング」には「あなたが夜明けをづげる子どもたち」を教育のうたごえ合同で歌う。
- *第4部、エンディングの当日指揮者は「藤村記一郎さん」に決定。
- ※上記以外も原案は出されており、お願いしたい関係諸団体との交渉が進められています。快い回答もいただいていますので、決定次第順次お知らせして、内容を全員で共有したいと思っています。あなたも実行委員ですよ!!

《レッスン記録・9月23日(土)》	《レッスン記録・10月6日(金)》
S12 A7 T2 B4 松本先生 計26名	S9 A4 T2 B2 松本先生 高橋佑子さん 計19名
※岡村さん=久しぶりです。10月6日にバラライカの45周年記念歌声喫茶が開かれるので、練習開始時刻を16:00にしたいとの提案が了承される。	※前回に引き続き始まる前に小林さんが歌っている「地球のうた」のCDが流れた。
1) 体ほぐし・発声	1) 「UDAUBE」 2回
2) 「UDAUBE」 1回	2) 「笑顔がかさなれば」 37分
3) 「笑顔がかさなれば」 42分	3) 「地球のうた」 43分
ずうっと前歌ったことがある曲だったが、ほとんどの人が思い出せず、音取りを中心に行った。	松本先生=小林さんのCDを聴いて全パート小林さんの声での合唱は美しい。みんなは一人ひとり声が違うのでこうはいかないが、みんなで歌おう、合わせようと思うだけで違ってくる。私が私かと思う人は、ソリストになってください。
4) 「地球のうた」 52分	※「創作曲を作るので、歌詞を言葉を募集しています」
これも久しぶり。裏拍をちゃんと歌うこと、10代になったつもりで、との言葉があった。	※

《今後の予定》

- ・10月20日(金) 夕練 15:30~ うたごえセンター 創作作品募集締め切り
- ・10月21日(土) 全国教育祭典実行委員会 10:00~ うたごえセンター
- ・10月28日(土) 昼練 10:00~ うたごえセンター
- ・11月3日(金) 団内創作部会 13:00 午後練 15:00~ うたごえセンター
- ・11月11日(土) 昼練 10:00~ 宮城野区中央市民センター 2階音楽室
- ・11月19日(日) 「Pinoの会ファミリーコンサート」 13:00~ 秋保薫の家